スポーツ現場実習Ⅳ

科目ナンバリング　SPS-409
選択　　1単位

本郷　仁吾・佐保　泰明

1. 授業の概要（ねらい）

アスレティックトレーナーの活動であるスポーツコンディショニングやアスレティックリハビリテーション、トレーニング指導などを実際のスポーツ現場で行えるよう実習を行う。
特にこの授業では、実習現場で、チームスタッフ・トレーナー間、選手とのコミュニケーションが適切に取れているか、実習中リーダーシップを発揮し、学生トレーナーとしての役割を担えているか、ATの役割を理解し、それに準じた知識や技術をみにつけているかを中心に評価し、各論では主にアスレティックリハビリテーションの実習を行い、現場での活動等の発表を行う。
※2年次のスポーツ現場実習Ⅰを修得していることを単位認定の条件とする。

2. 授業の到達目標

・担当教員に対して、報告、連絡、相談が適切にできる（自分の意見も踏まえたうえで）
・スポーツ外傷の知識を習得し、適切な評価を行える
・適切な評価のもと、アスレティックリハビリテーションを作成できる
・アスレティックリハビリテーションを実践することができる
・現場での活動等を適切に発表できる

3. 成績評価の方法および基準

実習への参加意欲・活動（40%）　レポート（40%）　報告会発表（20%）

4. 教科書・参考文献

参考文献
日本スポーツ協会アスレティックトレーナー専門科目テキスト①「アスレティックトレーナーの役割」　日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト②「運動器の解剖と機能」　日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト③「スポーツ外傷・障害の基礎知識」　日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト④「健康管理とスポーツ医学」　日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑤「検査・測定と評価」　日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑥「予防とコンディショニング」　日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑦「アスレティックリハビリテーション」　日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑧「救急処置」　日本スポーツ協会
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー専門科目テキスト⑨「スポーツと栄養」　日本スポーツ協会

5. 準備学修の内容

教科書・参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて事前学習しておくこと。スポーツ現場に入る前に、現場実習のルールやマナー、心構えなどについて再確認しておくこと。

6. その他履修上の注意事項

スポーツ現場に入る前に参考書を用いてトレーナーに必要な知識や技術、資質などについて学習し、実習に意欲的に取り組むこと。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンスほか
【第2回】　アスレティックリハビリテーションの考え方
【第3回】　運動療法について
【第4回】　物理療法について
【第5回】　徒手療法について
【第6回】　リスク管理の基礎知識
【第7回】　体幹のリハビリテーションプログラミングと実践
【第8回】　上肢のリハビリテーションプログラミングと実践
【第9回】　下肢のリハビリテーションプログラミングと実践
【第10回】　全体を通じてのプログラミングデザインの考え方
【第11回】　競技特性を考慮してプログラミングデザインの考え方
【第12回】　ATの役割を考えた実習のまとめ　実習を通じてのポイント
【第13回】　症例を考える
【第14回】　症例報告
【第15回】　発表と総評